

OGUリベラルアーツプログラム

共通科目の新プログラム（2022年度生より開設）

OGUリベラルアーツプログラムでは、アクティブ・ラーニングを通して、人文芸術・社会科学・自然科学・スポーツ健康科学の文理横断型の4領域をバランスよく学び、それらの知識を繋ぎ合わせることで、新たな知見を創造できる人材を養成し、受講生の皆さんの人格形成と豊かな将来をサポートします。

共通科目

初年次教育

教養

言語

実務基礎

OGUリベラルアーツプログラム

新設

Arts Program



OSAKA GAKUIN UNIVERSITY

OSAKA GAKUIN JUNIOR COLLEGE

大阪学院大学・大阪学院大学短期大学部

OGUリベラルアーツプログラム = リベラルアーツ × アクティブ・ラーニング

「OGUリベラルアーツプログラム」では、アクティブ・ラーニングを通して、人文芸術・社会科学・自然科学・スポーツ健康科学の文理横断型の4領域をバランスよく学び、それらの知識を繋ぎ合わせることで、新たな知見を創造できる人材を養成し、受講生の皆さんの人格形成と豊かな将来をサポートします。

【OGUリベラルアーツプログラムの教育目標】

これからの社会を力強く生きるために必要な **3つ** の能力を養成する

自分の考えを伝える力

俯瞰する力

豊かに生きる力

大阪学院大学共通科目新プログラム「OGUリベラルアーツプログラム」の仕組み

「OGUリベラルアーツプログラム」は、1年次で「リベラルアーツ入門」、2年次以降で「基礎探究」、「実践探究」、「PBL学習」と学修を進めます。1年次秋学期から履修登録できる「OGUリベラルアーツプログラム」の説明を読んで計画的に履修してください。きっとあなたを「豊かな将来」に導いてくれることでしょう！

1年次

2-4年次

自分の考えを伝える力
俯瞰する力
豊かに生きる力

自分の興味や関心をもとに、科目を選んで履修してみよう。
本学で共通科目を担当する先生方が**4つの領域に分かれ**、
少人数の**アクティブ・ラーニング形式**で指導します。
※1



PBL学習※2

「Project Based Learning」に取り組む

企業や行政等から課題を提示してもらうなど、社会とのつながりを強く意識したプロジェクト型のアクティブ・ラーニングです。インタビュー、アンケート、各種測定、現地調査によって、調査データを集め、論理構成や図表を用いた報告書を作成したり、成果を人前で発表したりします。教室から飛び出そう！

実践探究

本格的なアクティブ・ラーニングの実践

グループ単位でアクティブ・ラーニングに取り組みます。

基礎探究

アクティブ・ラーニングの導入科目

個人単位でアクティブ・ラーニングに取り組みます。

1年次秋学期

リベラルアーツ入門

リベラルアーツについての基礎的知識を修得

OpenでGlobal、Uniqueな「OGUリベラルアーツ」について学びます。

※1 アクティブ・ラーニング：従来のような知識の伝達・注入を中心とした授業から、教員と学生が意思疎通を図りつつ、一緒になって切磋琢磨し、相互に刺激を与えながら知的に成長する場を創り、学生が主体的に問題を発見し、解決策を探索する学修のことです。

※2 PBL：問題発見・課題解決型学修とも呼びます。課題と対峙した時、解決を導くための行動力と思考力を伸ばします。学生は情報収集、情報分析や課題解決に至る構想を考えるプロセスを体験しながら、課題との向き合い方を学びます。主体的に取り組む力、異なる意見や価値観を受け入れる力、そして課題を見出し、解決策を考え行動に移す力を養います。

OGUリベラルアーツプログラムの修了要件

大学：「リベラルアーツ入門」を必修とし、自然科学領域、社会科学領域、人文芸術領域、スポーツ健康科学領域の4区分の領域から必ず1科目以上、計7科目（14単位以上）を修得すること。「基礎探究」、「実践探究」、「PBL学習」は自由に選択できる。プログラム修了者には、「修了証」を与える。

短期大学部：大学の「OGUリベラルアーツプログラム」科目を科目等履修により履修することができる。「リベラルアーツ入門」を必修とし、4区分の領域から必ず1科目、計5科目（10単位）を修得すること。「基礎探究」、「実践探究」、「PBL学習」は自由に選択できる。プログラム修了者には、「修了証」を与える。

OGUリベラルアーツプログラムとは？

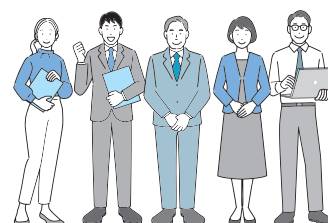
2022年度入学生より開設される共通科目の新プログラムです。1年次配当の「リベラルアーツ入門」と、2年次配当の「人文芸術」、「社会科学」、「自然科学」、「スポーツ健康科学」の文理横断型の4領域に配置される「基礎探究」、「実践探究」、「PBL学習」の12科目の合計13科目で編成されます。「リベラルアーツ入門」に加え、4領域から必ず1科目以上、計7科目を修得した受講生には「OGUリベラルアーツプログラム修了証」が発行されます（※）。また、「基礎探究」、「実践探究」、「PBL学習」を履修するには「リベラルアーツ入門」を修得済であること（または同時履修）が条件となります。

※短期大学部生は、「リベラルアーツ入門」に加え、4領域から必ず1科目以上、計5科目を修得した受講生に「OGUリベラルアーツプログラム修了証」が発行されます。

「OGUリベラルアーツプログラム」の履修モデル

大学	1年次		2年次		3年次		4年次	
	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	
入門	リベラルアーツ入門							
基礎探究		自然科学基礎探究	社会科学基礎探究	人文芸術基礎探究				
実践探究		スポーツ健康科学実践探究	自然科学実践探究					
PBL学習					自然科学PBL学習			

短期大学部	1年次		2年次	
	秋学期	春学期	秋学期	春学期
入門	リベラルアーツ入門			
基礎探究		人文芸術基礎探究	社会科学基礎探究	
実践探究		スポーツ健康科学実践探究		
PBL学習			自然科学PBL学習	



受講生インタビュー

2年次配当科目である「人文芸術PBL学習」（美学・芸術学）を受講した22年度生に話を聞きました。

経営学部 経営学科
谷口 ひいろさん



博物館の实地研修は、様々な博物館を訪問する中で、先生から直接、展示物に関する知見を得ることができ、非常に満足度の高い印象的な講義でした。『人が感動する』という大切な事象を博物館や美術品を通して学ぶことができ、自らの感性を育むことができたように思います。博物館や美術品に留まらず、『人が感動する』ことは日常に存在し、それに気づくことが豊かな人生の一つの要素だと理解できました。



経済学部 経済学科
大津 達也さん



昨年、博物館関連の講義を履修していたことがあり、興味を持って履修しました。講義では4回の实地研修が心に残っています。大阪市内、茨木市、島本町などにある歴史資料館や博物館、大学近くの岸部の街並みまでもがフィールドワークの場となりました。本学に併設している高校から進学しましたが、知らない場所も多かったです。この授業を通して歴史的建造物などに興味が湧き、自分で調べるようになりました。

外国語学部 英語学科
水川 翔太さん



芸術や音楽に興味があり、この授業を履修しました。まず、絵や音楽の捉え方が大きく変わりました。この絵や音楽には、どのような背景があるのか、そして、作者の気持ちなどを考えるようになり、鑑賞が楽しくなりました。次に、实地研修では、先生が丁寧に説明をしてくださったので、とてもよく理解できました。その結果、街の見方が変わり、街を歩くことが楽しくなりました。この授業では、クラス全員で実際にその場所に行き、実物を間近に見ながら学びました。大学生活の中でも思い出に残る授業でした。



「スポーツ健康科学実践探究」（トレーニング）授業の様子



「人文芸術実践探究」（生活美学）授業の様子

2026年度の【基礎探究】・【実践探究】・【PBL学習】一覧

2026年度秋学期

201：月曜日3講時

202：水曜日2講時

開講!

リベラルアーツ入門 1年次秋学期・2単位

変化の激しい人生100年時代にあっては、大学を卒業した社会人も、経済・社会の変化に対応して、新たな知識や技能を身につけ、産業構造の変化に対応しながら成長分野に移動していくことが求められます。「リベラルアーツ入門」では、講義やゲストスピーカーの講演を通して、実際の・実践的なリベラルアーツについて理解を深め、教養を駆使して多角的に物事を解決していくアプローチの仕方を学びます。

「OGUリベラルアーツプログラム」の修了には必修の科目となります。

人文芸術領域



【基礎探究】漢文学

頼山陽の『日本外史』を教材として漢文訓読を実践する。毎回受講者全員に、講義の一部を担当してもらう。具体的には、原文に句読点・送り点・送り仮名を付した資料を配付するので、それを書き下し文にして声に出して読み上げ、また現代語訳するのが課題である。



【実践探究】生活美学

自らの身近な事象に着目し、フィールドワークや見学などの実践的活動を踏まえ、質の良い暮らしに焦点をあて、地域と関わりつつ食や文化芸術の啓発プロジェクトに取り組みます。



【PBL学習】芸術のミュゼオロジー

ミュゼオロジーは、博物館を研究する学問分野です。本講では、展示の現場を訪れ、館の個性をとらえたいうえで、所蔵品を活用して日本をテーマにした仮想的な展覧会を企画します。日本の芸術を体感し、美術館や博物館が果たす役割を学びます。

社会科学領域



【基礎探究】社会学

新聞などニュースを題材に社会における諸問題について、社会的視点から多角的・批判的検討をおこないます。プレゼンテーションという発信能力だけでなく、コメントや質問といった聴き手としての能力の向上もめざします。



【実践探究】心理学

人の心や行動について、遺伝子や「生存と繁殖」の視点から出発する進化心理学の考え方を含めた多面的な理解ができるようになることを目的とします。グループごとに異なる問題に取り組み、結論をまとめて発表します。



【PBL学習】フィールドワーク

本学が位置する吹田市を対象地域として、フィールドワーク（野外調査）を中心に授業を進めます。地域が抱えている現状や課題、問題点を浮き彫りにして、まちづくりや地域活性化のために実現可能な改善策を受講生とともに考えます。

自然科学領域



【基礎探究】地球・地理情報

「地形」は単なる自然の造形というだけでなく、土砂災害・地盤災害とも深く関わり、本来は身近なものです。授業ではパソコンを使って地形図情報から地形を読み解くとともに、災害に関する基礎的な理解を深めます。



【実践探究】数学と生活

過去から現在の様々な事柄を数学を通して学び、社会における諸事象との関わりを探究し、これらの課題を考察します。古代オリエントの数学から現在のデジタルな数学まで、数学の生活への関わりを幅広く学びます。



【PBL学習】はじめてのAI活用術

ChatGPTを使い、文章やメールを作成、情報収集・確認、Excelやスライド等の資料作成に取り組みます。質問の工夫で答えの質を高める練習やグループ発表も行い、個人情報や著作権に配慮したAI活用術を身に付けます。

スポーツ健康科学領域



【基礎探究】スポーツ文化

文化としてのスポーツという考え方を学び、世界中の多様なスポーツ文化を理解します。そして、新たなスポーツをつくり、広める活動を通して「つくる」というスポーツとの関わり方とその価値を探究します。



【実践探究】トレーニング測定手法

ジャンプ力、走力、柔軟性などスポーツに必要な基礎的運動能力を測定、評価するための手法を学び、その分析結果を競技実践に生かすための考え方を身に着けます。授業では測定実習を行い、実践的な考察を深めます。



【PBL学習】スポーツ測定評価応用

体力要素ごとの基本的な測定方法とその意義、活用方法を学び、各自が関与しているサークル等で重要性が高い体力測定項目を特定します。実際に各自で体力測定を行い、そのデータを活用するプロジェクトを実行して結果をまとめます。

※担当者や内容は、変更になる場合があります。

OSAKA GAKUIN UNIVERSITY OSAKA GAKUIN JUNIOR COLLEGE
OGU 大阪学院大学・大阪学院大学短期大学部

●大学院/商学研究科・経済学研究科・国際学研究科・法学研究科・コンピュータサイエンス研究科
●商学部/商学科●経営学部/経営学科・ホスピタリティ経営学科●経済学部/経済学科●法学部/法学科
●外国語学部/英語学科●国際学部/国際学科●情報学部/情報学科
大阪学院大学短期大学部(女子) ●経営実務科

〒564-8511 大阪府吹田市岸部南2丁目3番1号 ☎06-6381-8434 (代表)
公式サイト <https://www.ogu.ac.jp>